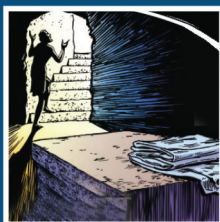
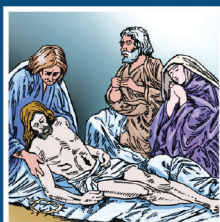
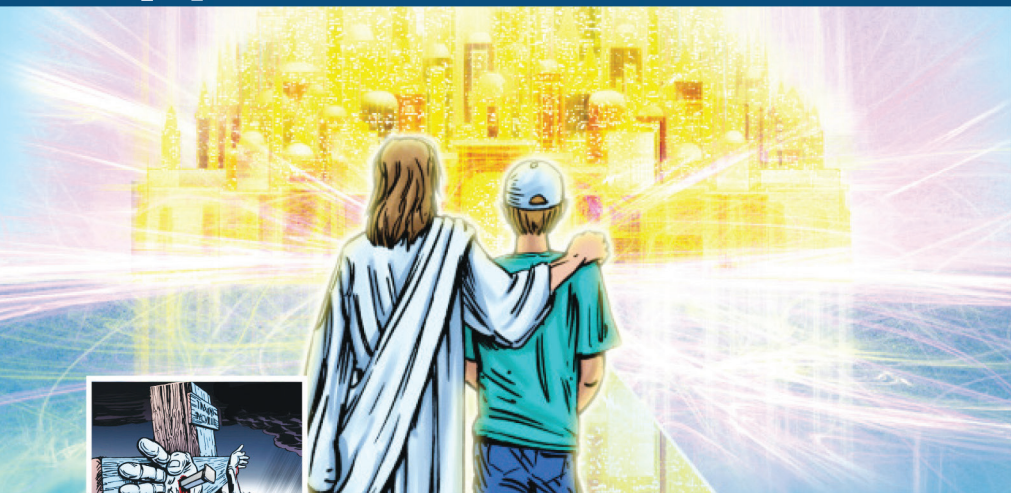


神の子ども



になる 方法

証しエディション

「証しエディション」には、「あなたの物語を語る方法:個人の証しによるクリスチャンの証言」が含まれています。

神の子どもになる方法

デビッド・ハウエル

このミニストリーを支える

私たちの団体「刑務所伝道」は、200万人の囚人を収容する全米2,100の刑務所に、「神の子どもになる方法」という小冊子を無料で印刷し、配布しています。私たちの目的は、人々の心を変え、刑務所をなくすことです。それはイエス・キリストへの信頼と愛によって達成することができます。心が変わらないと、出所した人々の70%は5年以内に再び刑務所に舞い戻ってきます。

皆さんの資金援助で、私たちが囚人たちを永久に自由にできるよう助けてください。

ご自分のミニストリー用に、以下のサイトで本を買うことができます。

howtobeachildofgod.com

売上はすべて、刑務所での本の購入に充てられます。

このミニストリーへの直接献金も以下のサイトで可能です。

prisonevangelism.com

フェイスブック: @ Prison Evangelism, Inc. and @How to be a child of God

小切手を送って頂くこともできます。 Prison Evangelism
PO Box 571977
Houston, Texas 77257

著作権 © 2019 by David Howell

無断複製・転載を禁じます。この冊子のいかなる部分も、デビッド・ハウエルの文書による許可なしに複製することはできません。

この小冊子は、教育・伝道の目的のため、まとめて購入することができます。詳しくは出版社にご連絡ください。

David Howell
PO Box 571977
Houston, Texas 77257 davidhowell@aol.com
info@HowtobeaChildofGod.com
www.HowtobeaChildofGod.com

本書のEブックを読み、このビデオを見るには
@ WWW.PRISONEVANGELISM.COM

別段の指示がないかぎり、聖書の聖句はすべて新共同訳聖書から引用しています。無断複製・転載を禁じます。

ISBN: 978-0-578-14157-2

美術的指示: John Magee, Houston, Texas
JohnMageeDesign.com

すべてのイラスト: Randy Rogers, The Woodlands, Texas
artistguy@att.net

導入

「実際、もしキリストと十字架の意味が最初から私たちに完全に示されているとしたら、私たちはキリスト者としての生活の最初の日から多くの経験を味わえるかもしれませんが、それに関する完全な説明はもっと後になってなされるのだとしても」。

ウォッチマン・ニー「キリスト者の標準」

イエス・キリストは主であり、神であり、救い主であり、命であると信じる時、私たちはイエスが私たちの意志と人生のすべてを支配されることを求めているのです。実際、イエスは私たちの命になります。私たちは造り変えられるのです。人によっては直ちに、人によってはゆっくりとですが、変化は必ず起こります。神の聖霊そのものが私たちの中に生まれ、私たちを完全にし、生かし、完成されます。私たちが神を信じ、心を神に委ねる時、人生はもはやかつてのそれと同じではありません。

デビッド・ハウエル

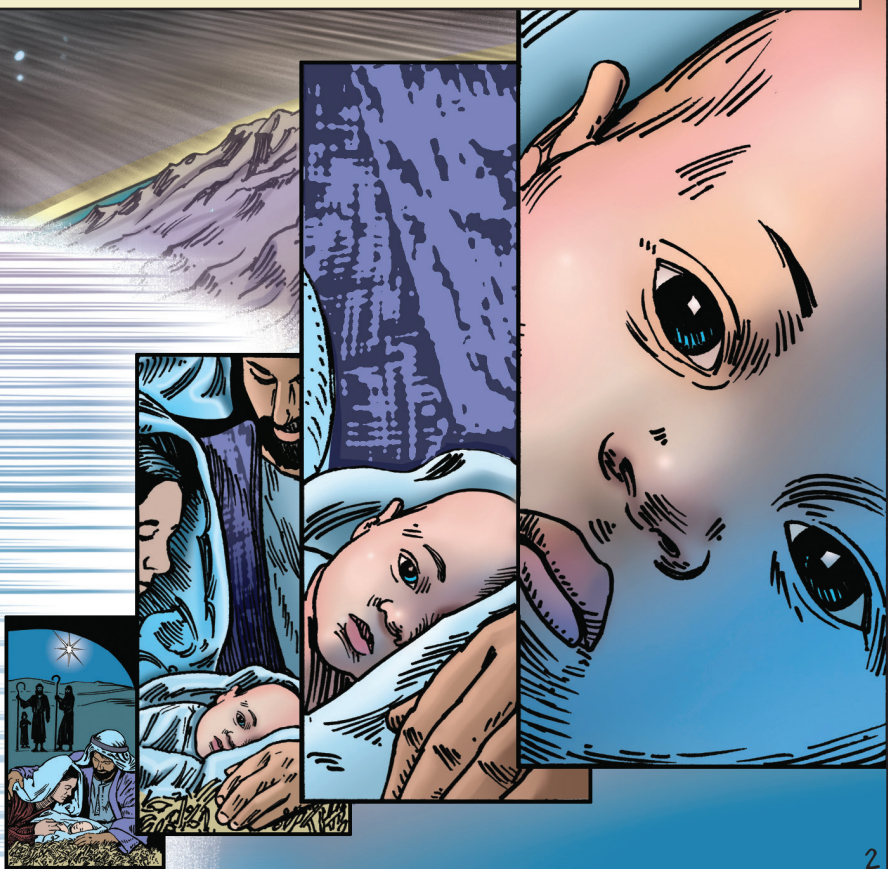
神は天におられたが、人となって地上に來られました



フィリピ書2:6-8、ヨハネ福音書1:14、ヘブライ書1:3、ローマ書8:3b、ヨハネ福音書10:30
1、コロサイ書1:15 コロサイ書2:9、ヘブライ書2:11-17、マタイ福音書1:20-21

イエスは奇跡によって胎に宿されましたが、私たちと同じように女から生まれました。イエスがそうされたのは、私たちがイ

エスと個人的な関係を築き、イエスが神であり人であることを知り、かつ御父と同じであられることをよく理解するためでした。



イエスは幼少時代と青年期を過ごす中で、商いを学ばれました。時が満ちた時、イエスはこの世で行うべき宣教の業を開始され、ご自身がすべての人の神であり救い主であることを示されました。



地上における目的が完了した時、イエスは自分が十字架刑に



なることを受け入れられました。イエスは辱められ、拷問を受け、最後に十字架に釘付けにされました。イエスが最も残忍な死を選ばれたのは、あなたや私が罪の行いの代償を払う必要がなくなるためです。イエスは、私たちがイエスとその体験とにおいて一体化することを望まれました。



た。神のみが知る方法で、イエス・キリストの犠牲と流された血は、私たちの罪を洗い流し、私たちが永遠に聖いものとしてくださるのです。この全き愛の行為は私たちに聖さを与え、それによって神は、私たち一人一人をイエスと同様に神の子どもとしてみなしてく下さるのです。

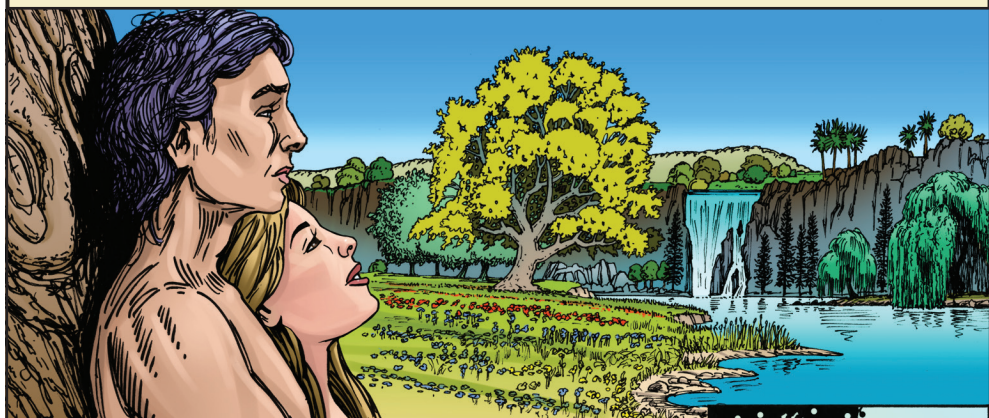
マタイ福音書26:28-29、27:57-61、ローマ書5:6、8:3、エフェソ書1:7
ヘブライ書2:14-15、9:22、第1ペトロ書2:24、第1ヨハネ書1:7



イエスは死んで葬られた後、神はイエスをよみがえらせました。よみがえりの後、多くの人々がイエスの姿を見ましたが、やがてイエスは天に戻られました。イエスが地上に来られたのは、私た

ちがイエスと個人的な関係を結び、私たちに賜物として永遠の命を与えられるためでした。永遠の命はキリストの命です。それは始まりがなく、終わりもありません。

これらの事はなぜ必要だったのでしょうか。その理由は、神が最初の人間アダムを創造された時、神はアダムに楽園での素晴らしい生活を与えられましたが、アダムは天の父に従いませんで



のです。この時以来、人間は肉体と魂(人格)を持つことになりましたが、霊的には神に対して死んだ者となったのです。人間は完全ではなく、もはや神が用意された祝福を経験できなくなりました。

私たちはアダムに遡る家系に属する両親から生まれた子どもですが、霊的にはエデンの園でアダムと共に死にました。

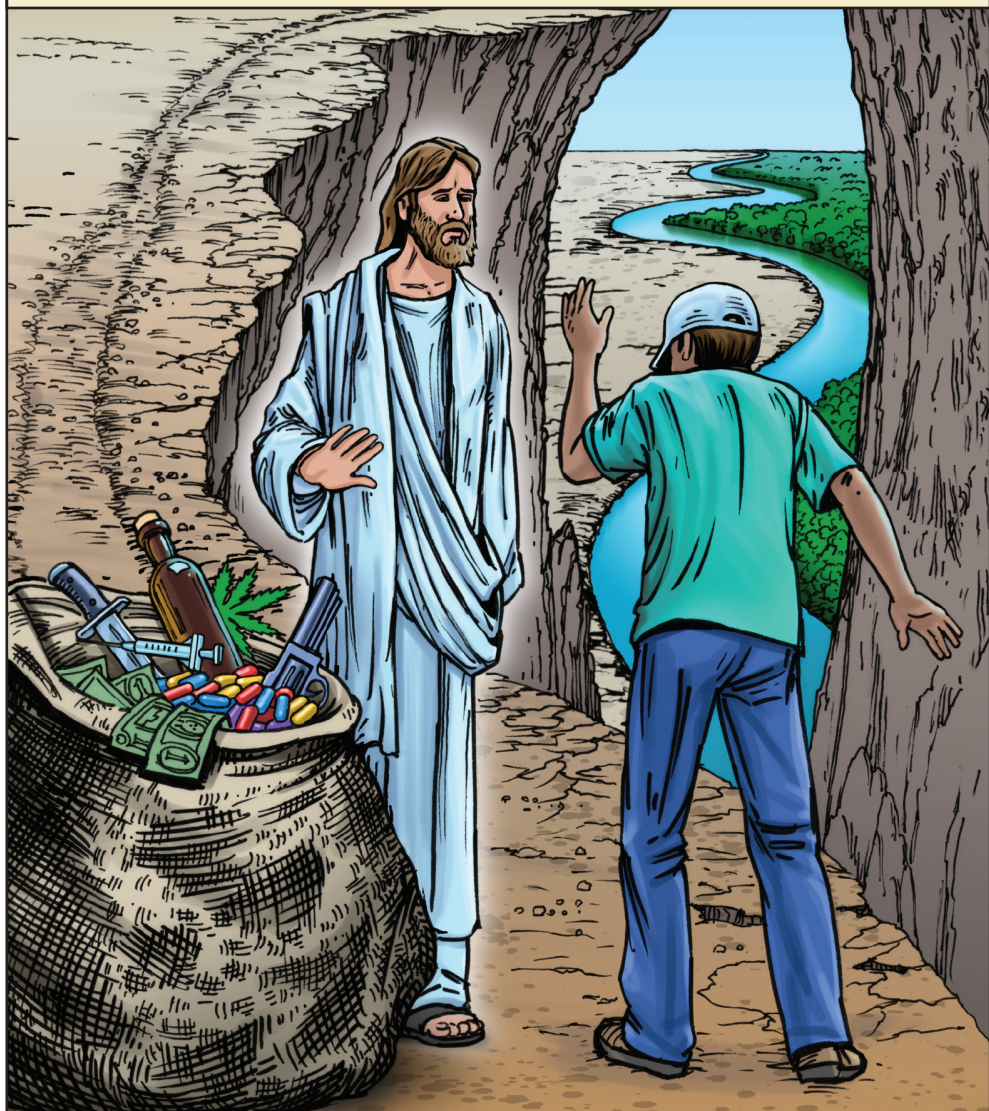


私たちはこの家系の重荷に加えて、私たち自身の罪の重荷、および地上における人生の歩みの中で積み重なった情緒的重荷を背負っています。それは正に恥、罪悪感、過去の諸問題や悩みの種、罪にまつわる悪感情と性格的欠陥とがごちゃまぜになったものです。私たちは新しい系図と新しい家族を必要としています。



ある日のこと、ある人がやってきて、イエスの物語を語りました。それは、イエスが、私たちのために死ぬことによって、私たち一人一人を永遠の死から救い、私たちに永遠の命を与えるために来られた、という物語です。イエスは死ぬことによって、すべての人間に出口を示し、完全な赦しと無条件の愛、イエスによる永遠の命の希望とを経験する道を開いてくださいました。

またイエスが来られたのは、あなたや私がイエスとの間で結ばれた関係を通して、この地上で平和と豊かな人生とを得るためでした。イエスは私たちに、いかにして人生の諸問題を克服するかを示したいと願っておられます。イエスは、希望と人生の新しい設計図を示してください。私たちの本性は自己中心的であり、私たちを混乱させます。しかしそれはうまくいきません。



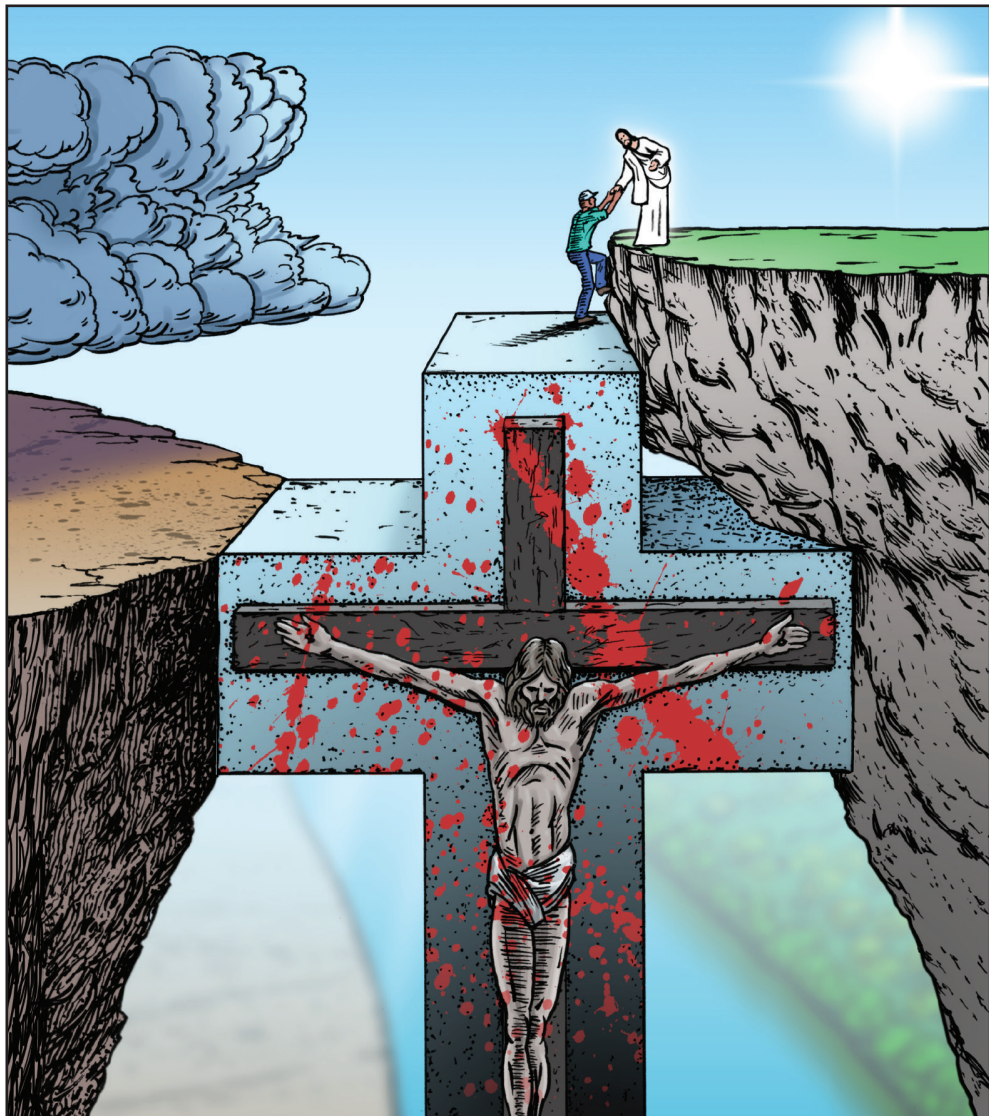


私たちは、神から離れて平和を得ることはできません。私たちが日々行う選択は自己中心的であり、私たちが欲求不満にし、神との交わりから引き離します。私たちは天におられる父と平和に結ばれることを心から願っているものの、霊的な関係を持つことができません。私たち自身の「思い上がり」と善意が混じり合って混乱を引き起こしたのです。

コヘレトの言葉3:11、ローマ書6:16、ルカ福音書1:78-79、ヨハネ福音書16:33、
ローマ書5:1-2、8:6

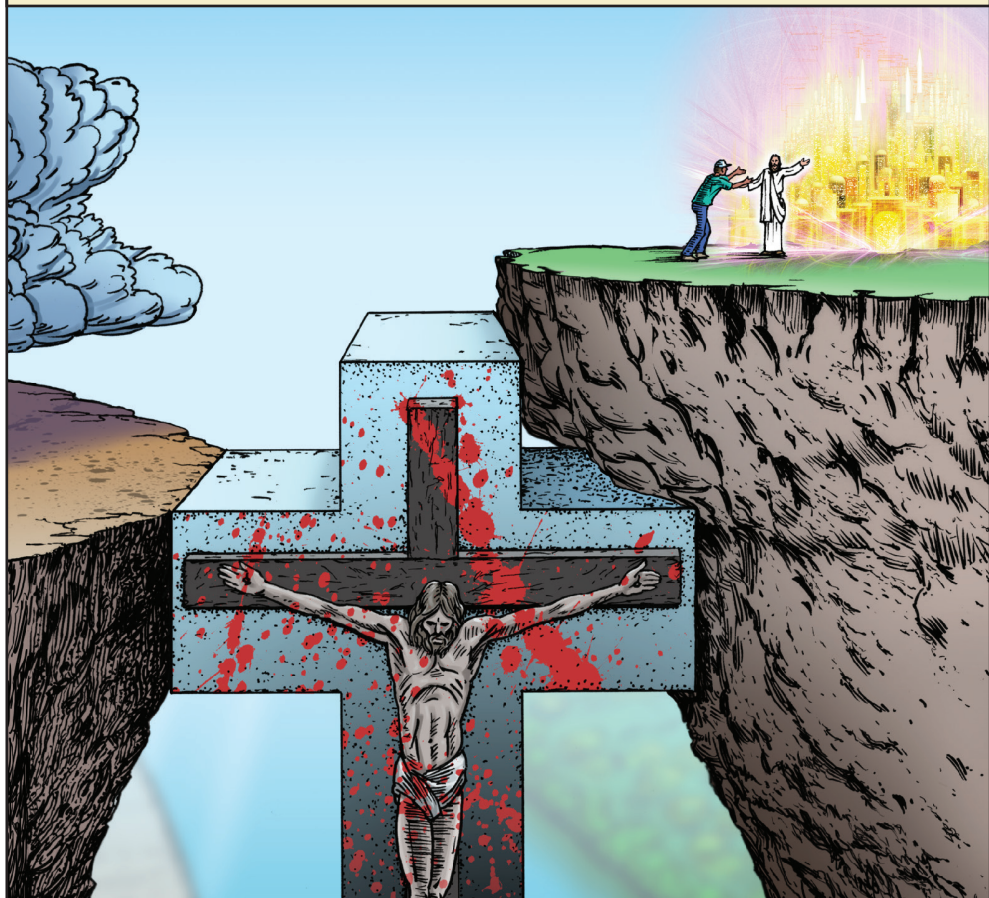
私たちは、神と私たちを隔てている溝を埋めようとし、神との関係を再構築する道を探りますが、思うようには行きません。イエス・キリストへの信頼によってのみ、私たちは父なる神と交わることができるのです。

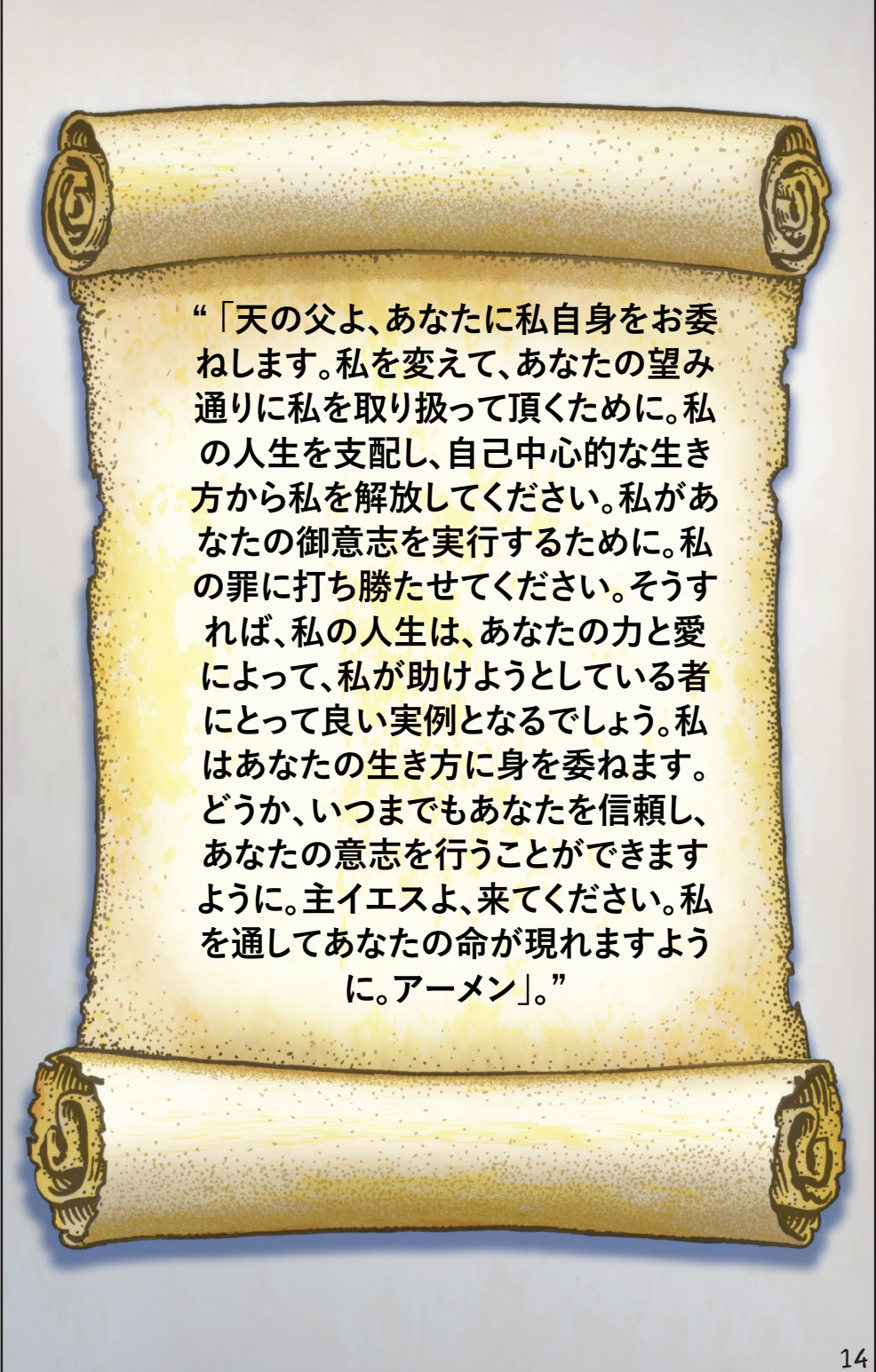




それができるのは、私たちの過去、現在、未来のすべての罪、過ち、性格上の欠陥のために死んでくださったイエスその人です。イエスの血によって、私たちは浄められ、神の前に正しい者とされます。私たちは父なる神から完全な赦しと無条件な愛を頂くことができます。イエスは死と復活によって、神と人間との間に横たわる溝を埋めてくださいました。それゆえ、イエスは世界の救い主なのです。

この真理を受け入れるか拒否するかは私たちの自由です。もしこれらの出来事を事実として受け入れ、イエスを神と認めるなら、私たちは神の子どもとなり、イエスの持っているすべての権利と特権を手にすることができます。私たちはイエス・キリストの共同相続人となり、かつイエスの兄弟姉妹となります。あなたの意志と人生を、思い切ってイエスに委ねてしまいなさい。ややこしい事ではありませんが、あなたがこれまでしてきた事の中では最も難しい事の1つかもしれません。もし本当に神の約束と神との交わりから生まれる喜びを経験したいと願うなら、イエスにお願いしてあなたの人生を引き取ってもらいなさい。それが真剣な願いなら、最も単純な祈りだけで十分です。なぜなら、神は私たちの心を見ておられるからです。この単純な祈りでもって、あなた自身をイエスに引き渡しましょう。**あなたがイエスを信頼し信じる時に必要な事は、それだけです!**



A scroll with text on a parchment-like background. The scroll is unrolled, showing the text in the center. The scroll has decorative circular motifs at the corners. The text is written in Japanese.

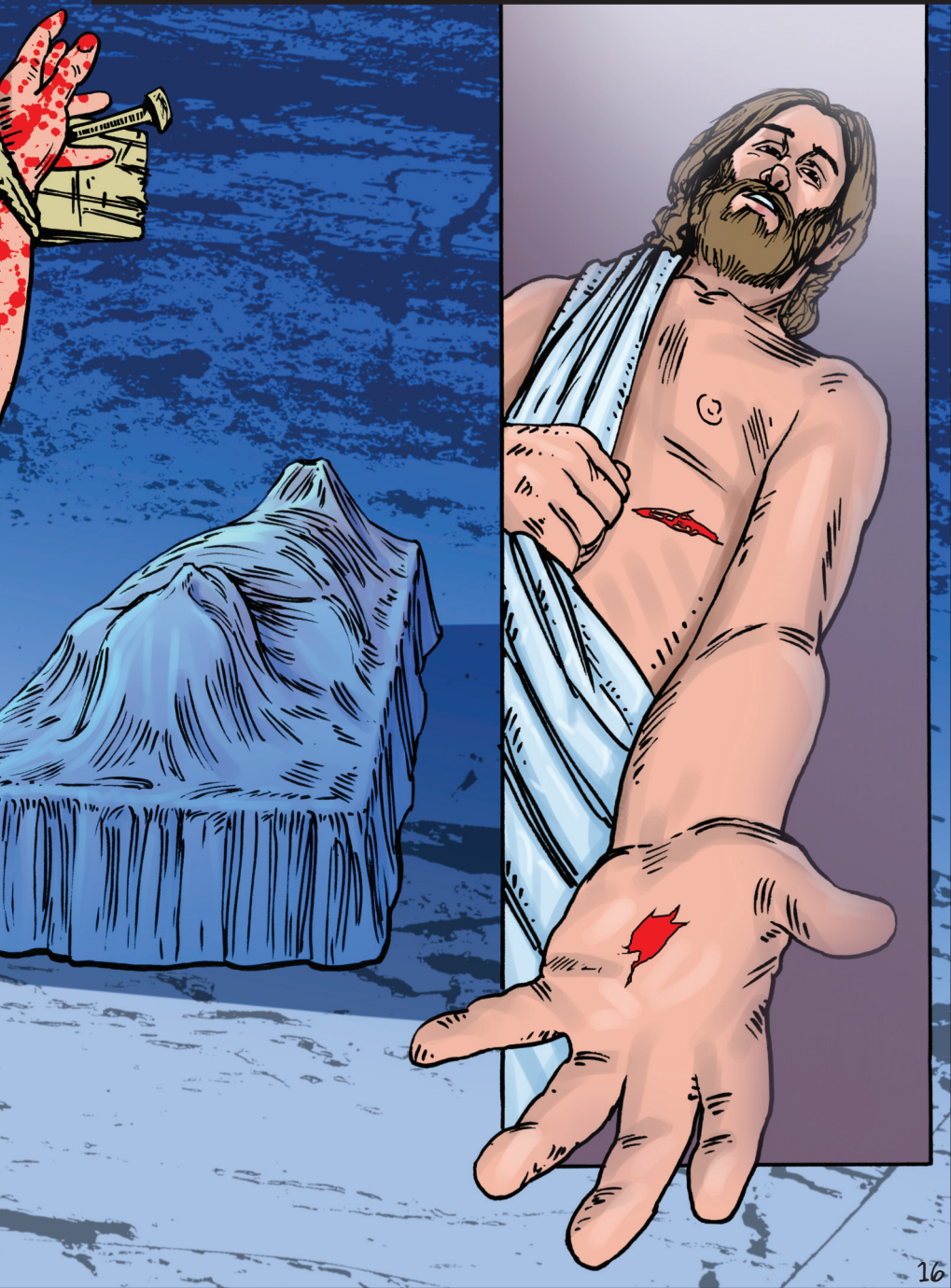
“「天の父よ、あなたに私自身をお委ねします。私を変えて、あなたの望み通りに私を取り扱って頂くために。私の人生を支配し、自己中心的な生き方から私を解放してください。私があるあなたの御意志を実行するために。私の罪に打ち勝たせてください。そうすれば、私の人生は、あなたの力と愛によって、私が助けようとしている者にとって良い実例となるでしょう。私はあなたの生き方に身を委ねます。どうか、いつまでもあなたを信頼し、あなたの意志を行うことができますように。主イエスよ、来てください。私を通してあなたの命が現れますように。アーメン」。”



イエスは死んで葬られ、そしてよみがえられた、と口で語り、心で信じなさい。イエスは肉体となった神であられると信頼し、神の子どもとなり、キリストの共同相続人となりなさい。

ヨハネ福音書11:25-26、14:6-7、ローマ書10:9、10:13、第1コリント書6:17、エフェソ書1:5-8、2:8-10、コロサイ書2:6-7、第1ヨハネ書5:12-13

神の聖霊を受ける時、あなたは完全になり
神に生きる者となります。



イエス・キリストをあなたの人生に迎え入れる時、あなたはアダムに属する地上の家族の家系から転出して、キリストの永遠の命へ移されます。この命は過去においても将来においても永遠です。あなたは十字架に移され、古い自我はキリストと共に死にます。



ローマ書5:18-19、8:1-2、第1コリント書15:22、ガラテヤ書5:24、
エフェソ書1:13-14、3:14-15、第1ペトロ書1:18-19



あなたはキリストと一つになります。あなたはキリストに結ばれ、それは決して変わることはありません。今やイエスがあなたの中に生まれ、あなたはイエスの中に住みます。イエスが行かれる所にはどこでも、あなたは行くことになります。あなたが行く所にはどこでも、イエスも行かれます。

ヨハネ福音書14:20、ローマ書6:6、ガラテヤ書2:20、4:4-7、5:24、
エフェソ書1:11、コロサイ書2:10

あなたの「古い自我」がイエスと共に十字架上で死んだ時、あなたはイエスと共に葬られたのです。あなたの新しい霊的自我がキリストと共に生まれ、イエスと共に天国へ上ります。あなたは欠点、罪悪感、罪、恥のすべてを捨て去りました。あなたはキリストの中にあり、キリストはあなたの中におられます。あなたは古い自我を新しい自我に取り換えるのです。今やあなたの中に神の聖霊が宿り、あなたの魂は神と共に命を回復しました。あなたはキリストの中にあり、永遠の命が歩み始めています。あなたは生まれ変わったのです！

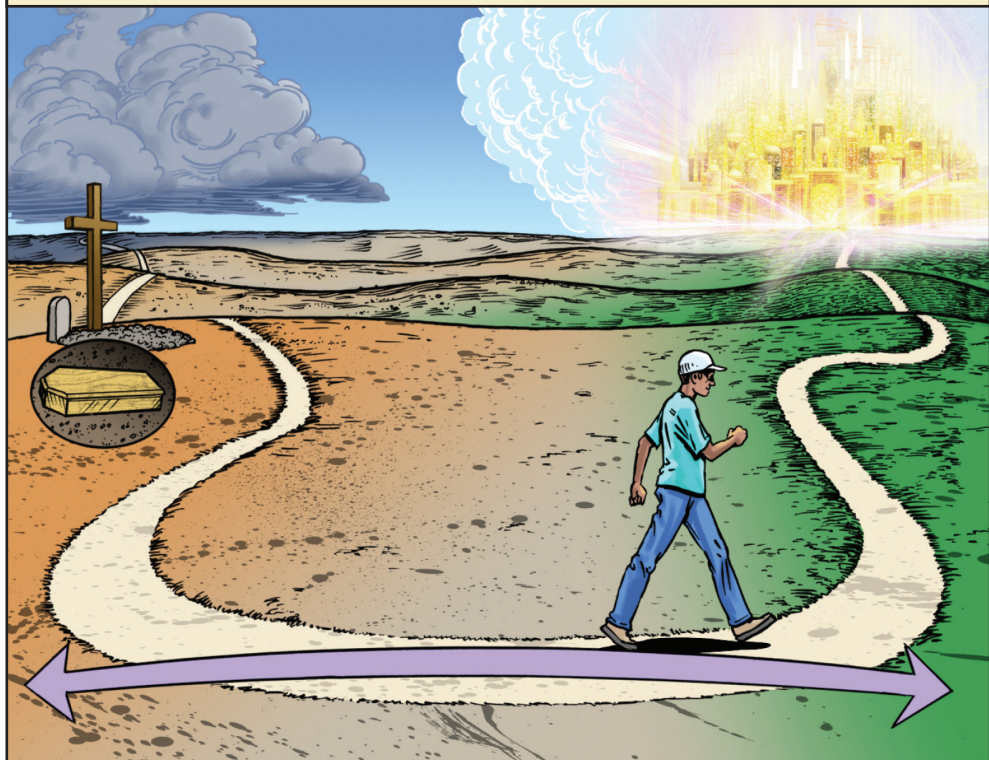


ヨハネ福音書3:6、11:25-26、ローマ書5:5、6:4-6、8:10、
コロサイ書2:12-14、3:1-3、エフェソ書1:13b、2:6



真剣に祈ったなら、あなたは今や新しい家族の一員、つまり神の家族の一員となったのです。父なる神は私たち全員をご自身の養子として受け入れられました。私たちは長男イエスと共に共同相続人なのです。神はあなたを受け入れ、神の家族の一員として無条件に愛しておられます。**あなたは神の子どもです!**

あなたの古い自我は、キリストが背負ってくださった罪の重荷と共に十字架の上で死にました。あなたは解放され、もはや罪や中毒、その他人間の悪の道に囚われる必要はありません。あなたはキリストと共に死んだので、サタンの持つ恐ろしい武器はもう役に立たなくなったのですから、もはや死を恐れる必要はありません。新しい勇気と大胆さが新しい



永遠の命と共にやってきます。死があなたに影響を与えたり、あなたを支配したりすることはもはやありません。キリストは、だましや盗みや虚偽、その他諸々の罪のために死なれました。私たちもキリストと共に死んで、罪深い性質を捨て去ったのです。私たちは、自分が選んだ道に進むのかそれとも神の道に進むのかを選択する自由があります。この選択の自由は、私たちの意志と人生をイエス・キリストを通して神の手に委ねる前にはなかったものでした。

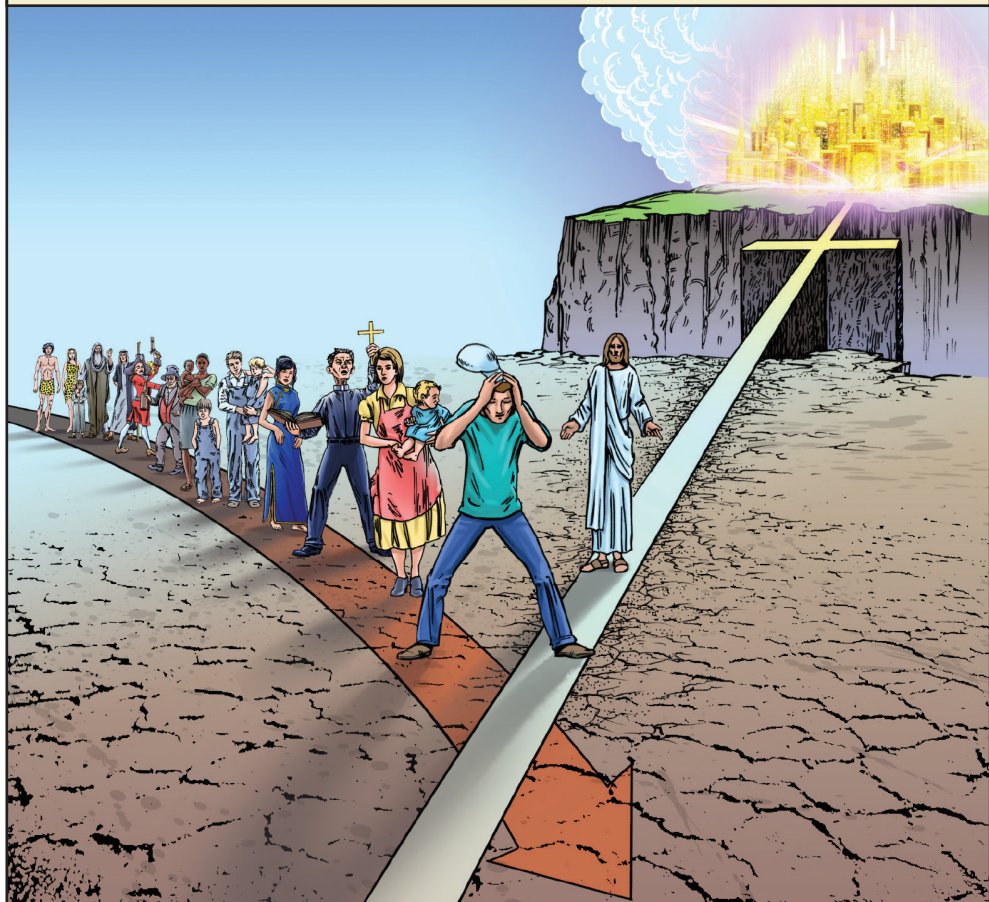
ローマ書6:11-13、8:1-2、8:15-17a、ガラテヤ書5:16、
コロサイ書2:6-7、第2テモテ書1:7、ヘブライ書2:14-15



この真理を完全に理解することは難しいかもしれません。なぜなら、私たちの心身は、言い換えれば私たちの人格は、まだこの世の生活に浸っているからです。しかし今やキリストの霊が私たちの中に住んでおられるので、私たちは霊的な存在です。神が私たちに望んでおられる豊かな人生を満喫したいのであれば、これらの出来事を信仰によって受け入れなければなりません。あなたの考え方を変えて、自分は何者なのか、自分はどこにいるのかを思い浮かべなさい。あなたの心を父なる神が住んでおられる天国に向け、この世の日常生活の雑事から離れなさい。そうすればあなたは、神の家族と共にある聖い喜びを見出すことでしょう。あなたの古い自我は死に、イエス・キリストの中に新しい命を発見するのです。それは全く新しい考え方です。**あなたは変容しているのです!**

ローマ書8:5-6、12:2、第1コリント書2:16、エフェソ書2:6、
フィリピ書2:5、3:20a、4:6-8、コロサイ書3:1-3、第2テモテ書1:7

私たちの受け継ぐ財産は、私たちの両親とアダムに遡る生物学上の家系に属するのか、それとも神の家族の家系に属するのかのいずれかです。その他の選択肢はありません。イエス・キリストに対する信仰から離れると、私たち一人一人はアダムの家系に留ることになります。多くの信者は、一方



の足をアダムの家系(いわば、地上の家族)に置き、もう一方を神の家族に置くことができると考えていますが、それは結果的に心の内面に対立をもたらし、霊的混乱を引き起こすだけです。はっきりとした選択に失敗すると、私たちは混乱状態に陥り、神が私たちのために用意しておられる勝利を失うこととなります。

マタイ福音書7:13-14、ローマ書6:16、7:14-25、8:1-2、第1コリント書15:22、ガラテヤ書5:16、フィリピ書3:20

神が三位一体(父、子、聖霊)であられるように、私たちも3つの次元に住んでいます。私たちは肉体によって生きていますが、それは感覚を通して環境に関連しています。私たちは精神、即ち、個性を持っています。それは心であり、意志であり、感情です。そして、3つ目に私たちは霊的存在です。その霊性は、十字架の上で死に、葬られ、復活したイエスを信じ知ることを通して自覚されるものです。私たちの霊的次元は、神と結ばれた私たちの一部です。



創世記2:7、マタイ福音書3:13-17、ヨハネ福音書3:6、ローマ書8:10、
第1コリント書3:16 -18、第1テサロニケ書5:23 -24、ヘブライ書4:12

私たちの役割は、無条件にかつ全面的にイエス・キリストに私たちを引き渡すことです。イエスの願いは、この地上でご自身の目的を達成されるために、私たちの中にまた私たちを通して生きることです。文字通り私たちはキリストの体なのです。イエスは私



たち一人一人を用いて他の人々と接され、神の家族を拓けることを願っておられます。神の家族に加わってください。あなたは新しく創造された者です！古い自我に「さようなら」と言い、新しい自我と私たちの中に住まれるイエス・キリストに対して、「こんにちは」と言いましょう。

ローマ書6:11-13、8:10、12:1、12:4-5、第1コリント書3:16、6:19-20、第2コリント書5:16-21、エフェソ書4:21-24、フィリピ書2:5-8、コロサイ書1:27、第1ヨハネ書3:1-3、3:9-10、5:18-19

神の子どもとしてまたイエスとの共同相続人として、私たちはイエスとの相続に与り、豊かな生活の一端を目にします。あなたの中にイエスの新しい霊がおられるので、あなたは神の道について多くを学び、神に従って生きてなるでしょう。神は、その独り子イエスの中にご自身を完全に啓示されました。ですから、イエスについて学べるすべてのことを学びましょう。聖書を手に取り、新約聖書を読み、イエスの人生を学びましょう。ヨハネの福音書を最初に読むのが良いでしょう。旧約聖書創世記の最初の12章は天地創造の物語を語っています。この本の各ページの終わりに出ている引用箇所について、ご自分の聖書で確認するか、この本の索引欄にある聖書箇所をチェックしてください。そうすれば各ページに書かれていることをよりよく理解できるでしょう。



- 祈りの中であなたの新しい父に語りかけてください。あなたの新しい人生と家族のため、神に感謝しましょう。神に祈る時は、あなたの友人がそばに座っていると思って、心を開いて親しく話してください。あなたにとっては長男であるイエスの姿を想像してください。
- 聖書を読みましょう。あなたの新しい霊は神の聖霊ですから、聖書に書かれている事の意味を再発見するでしょう。聖書は神のみことばであり、天の父があなたに歩むべき道を語りかけておられるのです。天の父はあなたの想像以上に深くあなたを愛しておられます。
- 教会、信者の方々、バイブルスタディの集会を見つけてください。皆さんと会って交わりを続け、信仰の成長に努めてください。天の父はしばしば他の信者を通して語ってくださいます。
- イエスに従う決心をした後は、すぐにでも水による洗礼を受けるべきです。それはイエスを真似すること、従うこと、そして一体となる行為です。
- キリスト教信仰における後援者を探してください。あなたを戒め指導してくれる誰か、学び、頼りにできるような人です。
- 出て行って、イエスに対するあなたの信仰と信頼を他の人々に伝えてください。
- 聖書の購入をお勧めします。特に、ティンデル・ハウス出版のニュー・リビング訳(NLT)が良いでしょう。

神の祝福がありますように!

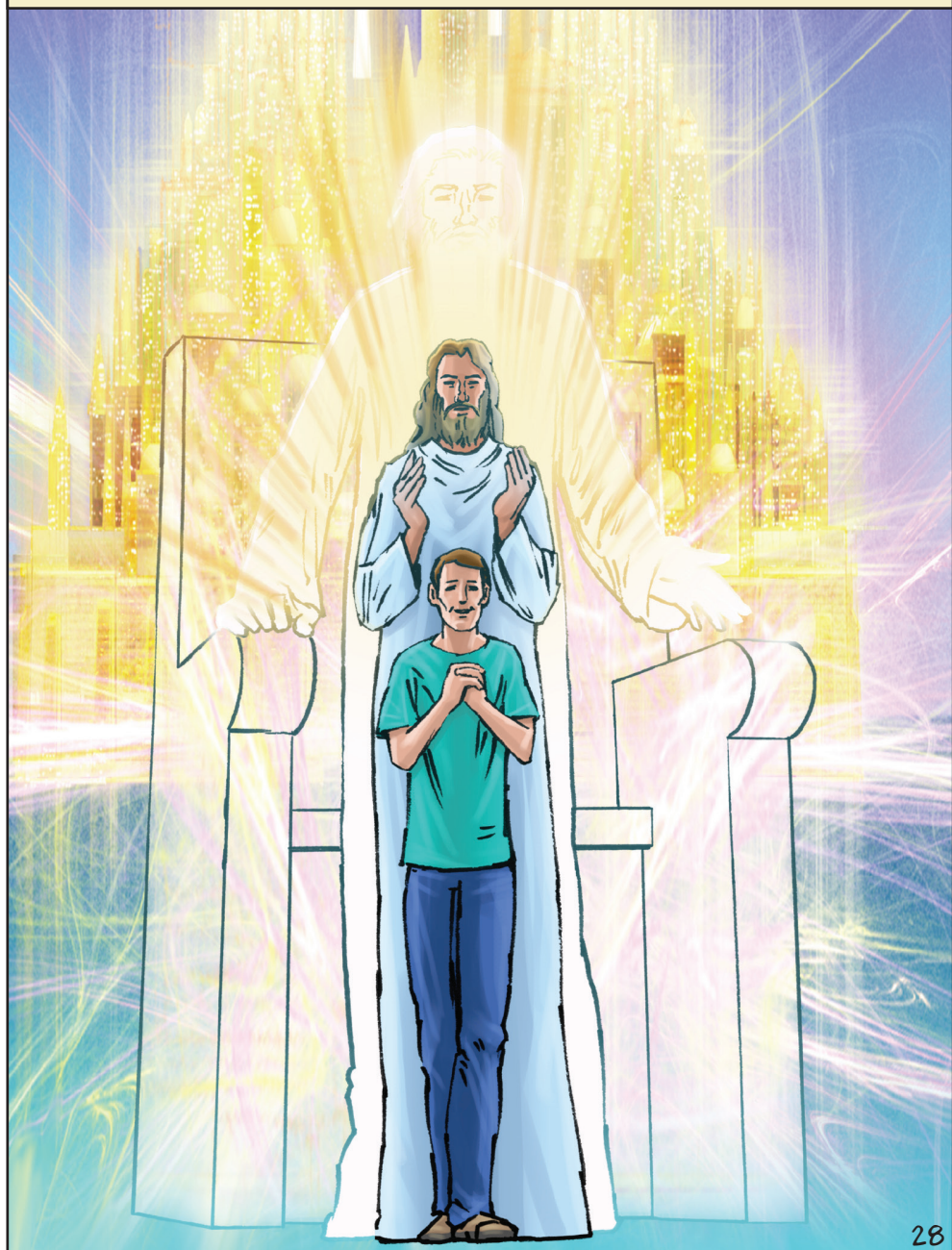
「あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにして自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい」。

ローマ書12:2



「わたしが生きているので、あなたがたも生きることになる。かの日には、わたしが父の内におり、あなたがたがわたしの内におり、わたしもあなたがたの内にいることが、あなたがたに分かる」。

ヨハネ福音書14:19b-20

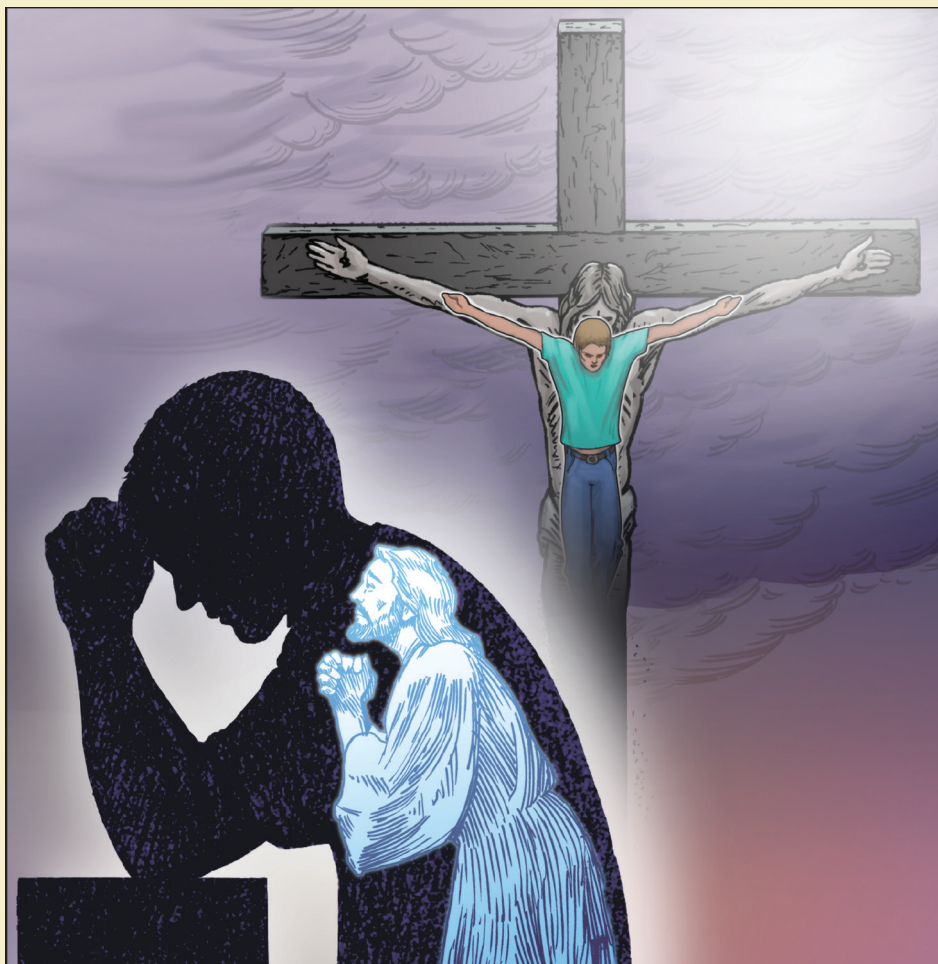


「私たちはキリストと共に十字架につけられ、キリストと共に葬られ、キリストと共に復活し、今や神の面前でキリストと共に王座に着いています。



なぜなら神は、キリストと共に私たちが死者から復活させ、天の王座に着かせたからです。私たちがキリスト・イエスと結ばれているからです」。

エフェソ書2:6, NLT



「生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです」。

ガラテヤ書 2:20

今やあなたは神の子どもですから…

新しい神の子どもとして、神の息子または娘となる特権を与えられています。あなたは神と親しい関係を持ち、神を父と呼び、その膝に座り、心を注ぎ、神をいつまでもあなたを愛してくれるお父さん、仲間、友達、世話役、腹心の友とするのです。特権と共に責任も生じます。責任のいくつかについてはこれから数ページにかけて説明します。あなたはキリストを受け入れたらすぐに、それを他の人に伝えるよう指示されます。

「だから、だれでも人々の前で自分をわたしの仲間であると言い表す者は、わたしも天の父の前で、その人をわたしの仲間であると言い表す」。マタイ福音書 10:32

問題は、それをどのように実行するかについてこれまで十分に教えられなかったことです。その方法は簡単ですので、これからの数ページで「あなたの物語を語る方法」を説明します。カギは「やる気」です。あなたが真剣にイエスに祈り、あなたの意志と人生をイエスに引き取ってもらうことを願うなら、考え方は易しく簡単です。イエスは、今この瞬間、あなたの中で、その考え方、決断の仕方、感じ方に、変化をもたらされています。「目の見えなかった私が、今は見える」(ヨハネ福音書9:25)

私は何かを気に掛けることは決してなかったが、今は違う。愛とは何か知らなかったが、今は知っている。私は変わりつつある。



と同じように、考え方はシンプルです。物語を語る時、あなたは従順になって神が求めておられることを行っているのです。あなたは新しい人生に乗り出したのです。忘れないでください——それを行うのはあなたではなく、あなたの中にいるキリストだということを。思い切ってキリストに語っていただきましょう。

.... 伝えよう!

また私たちは、他の人々をイエス・キリストへ導き、神の王国を拓ける使命を与えられています。「**人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである**」(ルカ福音書19:10)とあります。あなたはキリストの体であり、次の数ページに書かれている指示に従ってその任務を果たすことができます。カギは、いつでも利用されること、です。イエス・キリストがあなたを用いてその姿を現わし、他の人々を捉えることができるように、あなたはいつでも用いられるよう準備がなければなりません。イエスは、あなたが外に出かけて見知らぬ人に話しかけることを求めてはいないかもしれませんが、既知の友人を日頃から訪問して話し合うことは求めておられます。イエスは既に彼らを選ばれています。もしあなたの心の中で、友人の誰かがイエスを知りたいと思っているのではと想像しているなら、それはあなたがキリストの心をもって考え始めているからです。この本の「**証言する方法**」という箇所は、どのようにすれば誰かをイエス・キリストに導き、神との平和を得させることができるかを教えています。それは難しいことではありません。必要なことは、あなたのやる気と、あなたを通してイエス・キリストが命を吹き込んでほしいという願いだけです。あなたをお願いします。



「まず第一に勧めます。願いと祈りと執り成しと感謝とをすべての人々のためにささげなさい」(第1テモテ書2:1)と。

私は何かを気に掛けることは決してなかったが、今は違う。愛とは何か知らなかったが、今は知っている。私は変わっている。



「目の見えなかったわたしが、今は見えるということです」ヨハネ福音書9:25

あなたの物語を語る方法

個人の証しによるクリスチャンの証言

イエス・キリストを知り信頼するようになった、というあなたの個人的な証しを他の人々と分かち合うことが、個人伝道が始める第1歩です。個人的な証しは2種類あります。1つは歴史的なものです。イエス・キリストはあなたの主であり神であり、救い主であると信じるようになる前と、なった時と、なった後のあなたの人生について語ることです。もう1つは、証しをテーマとして語り、救いの出来事、および救われた後の人生はどうなったかを語ることです。これは、子どものころキリストを知った人が、回心した後の人生はどんなものだったかを語ることです。もう1つの例は、自分は生まれた時からクリスチャンだったが、神を本当に知ったのは、自分をキリストに引き渡し完全な悔い改めを行った時だったという証しです。あなたとあなたの仲間が共有する生活基盤、共通の故郷、仕事、学校、などを語ることから証しを始めましょう。共通の関心事を見つけましょう。

それはどうだったか

自分の物語を語る場合、あなたを導いて、生き方を変えたいと思わせた道について再考し、それを簡単に要約しましょう。私たちは皆、人生の歩みの中で、悪い決断や間違っただ選択をしてきて、そうしなければよかったとか、繰り返したくないと思っているものです。もう一度生き直す機会やチャンスがあればどんなに良いだろう、と。場合によっては、それは私たちの邪魔をするような一連の出来事だったり、人生を再考させるような大きな過ちや予想外の出来事だったりします。どんな環境であれ、私たちの行動や態度が引き起こす結果は、自己を終わらせる起爆剤になり得ます。それは、もはや自分と同じ方法でそれを繰り返すことはできないと分かって、生き方を変えなければならない、あるいは大きな代償を支払わなければならないと知る時です。あなたは既にその結果に対して代償を支払うところまで来ていたかもしれません。私たちの多くは人生の旅路において、もはや自分自身に頼ることができないという境地に達するものです。自分自身では事を成し得ません。私たちは、本当の神は誰かを知り、自ら神の役を演じることは止めねばなりません。



何が起こったのか

私たちは自ら謙遜になり、自分は宇宙の支配者ではないことを知る時、別の選択肢を捜そうとします。不思議で奇跡的な方法で、1人の宣べ伝える者が現れます。その人は、より良き永遠の命と神との平和について語ります。それは友人として登場するのか、あるいは親戚や子ども、兄弟姉妹として現れるかもしれません。その人はあなたを



教会やバイブルスタディに誘うかもしれません。その人は(その人自身の個人的証しを通して)証人となり、もっと霊的な問題解決の方法をあなたに教えるかもしれません。まずイエスを求め、あなたが以前のように生きていく力を失っていることを認めさせるかもしれません。しかし何かが働



いて、あなたが神を求めるよう仕向けてくれます。遂にあなたは、神の前に自分を投げ出し、新しい人生の生き方を受け入れる準備ができたのです。あなたは神の子どもとなりたいと願い、そしてそれはあらゆる形で成し得ることです。それは実際に起こります。あなたは主イエス・キリストを信頼し、イエスにあなたの意志と人生を引き受けてくださるようお願いしました。新しい人生が始まったのです。

今どうなのか

あなたは神の子ども、生まれ変わった信仰者となりました。主イエス・キリストを神、救い主、命として愛し、信頼するようになりました。あなたの人生は変わり、新しい態度と価値観と共に進んで行くのです。今や天の父に対して責任を持つ者です。このセクションでは、あなたは自分の人生が変えられた仕方、考え方や個性までが変えられた仕方をもう一度考えるのです。いかに神の恵みのおかげで、人生の困難に立ち向かうことができるか説明してみましょう。間違った道へ進むとする時に、いかに神の聖霊があなたを正しい道に引き戻し、立て直してくださるか。このセクションで、あなたは何が善であり何が悪であることを説明することができます。常に良いということはないと、私たちは知っています。大切なことは、**内在のキリストが働いておられ、あなたはその働きの実現である**ということです。



次は何か

ここから私たちはキリストにあって成長していきます。険しい道の時もあり、穴だらけの道もあります、しかし私たちには新しい道具があるので、行く先にある障害や問題を克服することができます。私たちは神の力を持っており、私たちの中で働く聖霊は、私たちが

古い生活の間違った選択をしないように正しい道を示してくれます。聖書を学んで、イエスの生き方と態度を学びキリストを見習うのです。キリストが死なれた時私たちの古い自我もキリストと共に死んだことを理解するようになる時、私たちは新しい人間となるのです。イエ

ス・キリストが私たちの中に生きていることを知ってそれを理解し、私たちが救われてイエスと似た者に変容させられるという真理を知るだけで十分です。クリスチャンとして成熟するにつれて、復活した救い主に近づきます。そして生ける神であるイエス・キリストはあなたの中に生き続け、神の子どもである他の人々と共に、あなたを通してご自分の願いを実現させようとされます。あなたは少しずつキリストに似た者となり、過去を捨て去ってイエスに従う者となります。



「『だれが主の思いを知り、／主を教えるというのか。』しかし、わたしたちはキリストの思いを抱いています」。第1コリント書2:16



証言する方法

未信者をイエス・キリストに導くための指示は次の通りです。

次の10の提言は十字架のメッセージを伝える有効な方法です。注意深くその指示に従えば、きっと成功するでしょう。あなたは有能な種蒔き人、魂の収穫者となります。いずれにせよ、あなたは神の国の拡大の仕事に従事することになります。それこそあなたが生きる第1の目的です。

- ・ **10人の顔を思い浮かべてください。** 友達、親戚、愛する人たち、仕事や日常の買い物、遊び、作業を通して接する人々です。
- ・ **彼らの名前を書き出しましょう。** 名前を書き終わったら、その人たちのことを毎日思い出せる場所にその紙をテープで貼ってください。
- ・ **一人一人の救いのために祈ることから始めましょう。** 祈りながら、神が彼らの精神と心の扉を開き、彼らがイエスと永遠の命について耳を傾けるよう、神に求めましょう。忘れないでください。悪い人を善人にしようとしているではありません。あなたが受けている永遠の命の賜物を彼らに紹介することによって、霊的に死んでいる人々を生き返らせるのです。

・ **21日間各人のために祈り続けましょう。**神がそのような魂のために祈る時間の長さを気にされるのではありませんが、私たちは1つの習慣を確立するためには21日必要だということを知っています。ですからその期間中しっかりと彼らのために祈り続けましょう。そうすればあなたは、失われた魂のために祈るという、素晴らしい習慣を身に着けることになるでしょう。



- ・ **一人一人とコンタクトを始めてください。**21日後、あなたは祈りの主題をすべて網羅したことになります。さあ、次は行動です。最初の人を呼んで、「あなたに見せたいものがある」と言ってそれを見せ、その人の反応を確かめなさい。お茶や食事に誘うのも良いでしょう。「はい」という返事を得るまで、電話やコンタクトを続けてください。
- ・ **この本「神の子どもになる方法」を示して、その友人に、自分もこの小冊子を読んだこと、大きな衝撃を受けたこと、そしてあなたにも役立つかどうか知りたい、と言ってください。**もしパソコンや iPad その他の器具を持っていれば、www.howtobeachildofgod.com をクリックしてeブックを読むか、あるいは、実際に本を持っていない時はビデオを見ることが出来ます。
- ・ **この本の各ページを読み通してください。**14頁の「祈り」を読んだ後も、最後まで読み切ってください。この本の最後に出ている聖句をその友人に示して、聖書が手に入らない場合にはそれらの聖句が参考になると説明してください。その聖句がいかに本文やイラストを説明して、証明しているか、教えてあげましょう。

・ **あなたの物語を話しましょう。**この時点で、あなたがどのようにしてイエス・キリストを知るようになったかという物語や証しを語るのです。その証しは、それはどうだったのか、何が起こったのか、今どうなっているのかを説明します。もし他人に語るほどの証しがないなら、独りでこの本を読み、14頁の祈りを大声で祈り、言ったことを心で信じるのです。それからもう一度会話を再開します。先述の、「**あなたの物語を語る方法：個人の証しによるクリスチャンの証言**」の項目をチェックしてください。

・ **誘導尋問をしてください。**友人に対して、あなたが言ったことは意味のあることだったかどうか、尋ねてください。死んだ時に天国へ行くことができると思っているかどうか。尋ねてください。永遠の命とはどんな意味だと思えるか、尋ねてください。その人を、霊的かつキリスト中心の会話に引き入れてください。神はあなたが語るべき言葉を用意されるでしょう。あなたはただ喜んでそれを受け入れれば良いのです。

・ **あなたの友人がイエス・キリストを知るよう、導いてください。**その人が前向きに返答した時は(例えば、「私はあなたが持っているものが欲しい。どのようにしてクリスチャンになるのですか。私はもっと知りたい」と答えた時は)、この本の14頁にある祈りに戻って、その人に大声で祈らせ、キリストへと導いてください(独りで祈らせても良いし、あなたの祈りを繰り返させても良いでしょう)。友人と祈った後、15頁から20頁にある文章と挿絵に戻って、十字架のメッセージに関してすべてを理解したかどうか確かめてください。それがすべて終わった時は、そこには栄光の内に新しい名前が記され、その友人は神の子どもとなるでしょう!



Christ in You
Colossians 1:27

収穫を刈り取る

これらの簡単な指示に従うなら、あなたは魂を獲得する者となります。何の疑問も条件もありません。神はあなたを独特の個性と幅広い影響力を持った人間として造られ、あなたの知人にアピールする影響力を持たせられました。あなたのなすべきことは、ただ祈る心をもって彼らに近づくことだけです。**その他のことは神がなさいます。**おそらく、あなたのリストに記された人たちは神が選ばれた人たちでもあるでしょう。その人たちが必要としているのは1人の宣教者で、それはあなたです!**あなたが友人と話す時、神はあなたを通して語られます。すべての行動は前もって設計されており、神はあなたが到着するのを待っておられたと信じましょう。**あなた自身を利用して頂きましょう。それだけが天の父が求めておられるすべてです。ただ1つの条件は、まだその人がキリストの下に来るタイミングでは



ないかもしれないということです。この場合、あなたはその日はまだ魂の獲得者ではなく、種蒔く人です。どちらにせよ、あなたは天の父に従うことになり、それだけを神は求められています。あなたが神の子どもなら、この仕事をしているのはあなたではなく、あなたの中にいるキリストです。

聖句の引用はすべてアルファベット順

- エゼキエル書36:26-27「わたしはお前たちに新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く。わたしはお前たちの体から石の心を取り除き、肉の心を与える。また、わたしの霊をお前たちの中に置き、わたしの掟に従って歩ませ、わたしの裁きを守り行わせる」。8頁
- エフェソ書 2:13「しかしあなたがたは、以前は遠く離れていたが、今や、キリスト・イエスにおいて、キリストの血によって近い者となったのです」。13頁
- エフェソ書1:11「キリストにおいてわたしたちは、御心のままにすべてのことを行われる方の御計画によって前もって定められ、約束されたものの相続者とされました」。18頁
- エフェソ書1:13-14「あなたがたもまた、キリストにおいて、真理の言葉、救いをもたらす福音を聞き、そして信じて、約束された聖霊で証印を押されたのです。この聖霊は、わたしたちが御国を受け継ぐための保証であり、こうして、わたしたちは贖われて神のものとなり、神の栄光をたたえることとなるのです」。17 & 19頁
- エフェソ書1:5-8「イエス・キリストによって神の子にしようと、御心のままに前もってお定めになったのです。神がその愛する御子によって与えてくださった輝かしい恵みを、わたしたちがたたえるためです。わたしたちはこの御子において、その血によって贖われ、罪を赦されました。これは、神の豊かな恵みによるものです。神はこの恵みをわたしたちの上にあふれさせ、すべての知恵と理解とを与えて」。15 & 16頁
- エフェソ書1:7「わたしたちはこの御子において、その血によって贖われ、罪を赦されました。これは、神の豊かな恵みによるものです」。4頁
- エフェソ書2:14「実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し」。9頁
- エフェソ書2:6「キリスト・イエスによって共に復活させ、共に天の王座に着かせてくださいました」。19頁
- エフェソ書2:8-10「事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。それは、だれも誇る事ができないためなのです。なぜなら、わたしたちは神に造られたものであり、しかも、神が前もって準備してくださった善い業のために、キリスト・イエスにおいて造られたからです。わたしたちは、その善い業を行って歩むのです」。8 & 15 & 16頁
- エフェソ書3:14-15「こういうわけで、わたしは御父の前にひざまずいて祈ります。御父から、天と地にあるすべての家族がその名を与えられています」。17頁
- エフェソ書4:21-22「キリストについて聞き、キリストに結ばれて教えられ、真理がイエスの内にあるとおりに学んだはずです。だから、以前のような生き方をして情欲に迷わされ、滅びに向かっている古い人を脱ぎ捨て」。25頁
- ガラテヤ書1:15-16「しかし、わたしを母の胎内にあるときから選び分け、恵みによって召し出してくださった神が、御心のままに、御子をわたしに示して、その福音を異邦人に告げ知らせるようにされたとき、わたしは、すぐ血肉に相談するようなことはせず」8頁
- ガラテヤ書2:20「生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです」。18頁
- ガラテヤ書4:4-7「しかし、時が満ちると、神は、その御子を女から、しかも律法の下に生まれた者としてお遣わしになりました。それは、律法の支配下にある者を贖い出して、わたしたちを神の子となさるためでした。あなたがたが子であることは、神が、『アッパ、父よ』と叫ぶ御子の霊を、わたしたちの心に送ってくださった事実から分かります。ですから、あなたはもはや奴隷ではなく、子です。子であれば、神によって立てられた相続人でもあるのです」。18頁
- ガラテヤ書5:16「わたしが言いたいのは、こういうことです。霊の導きに従って歩みなさい。そうすれば、決して肉の欲望を満足させるようなことはありません」。23頁
- ガラテヤ書5:24「キリスト・イエスのものとなった人たちは、肉を欲情や欲望もろとも十字架につけてしまったのです」。17 & 18頁
- コヘレトの言葉3:11「神はすべてを時宜にかなうように造り、また、永遠を思う心を人に与えられる。それでもなお、神のなさる業を始めから終りまで見極めることは許されていない」。10頁

- コロサイ書1:15「御子は、見えない神の姿であり、すべてのものが造られる前に生まれた方です」1 & 2 頁
- コロサイ書1:27b「その計画とは、あなたがたの内におられるキリスト、栄光の希望です」25 頁
コロサイ書2:10「あなたがたは、キリストにおいて満たされているのです。キリストはすべての支配や権威の頭です」。18 頁
- コロサイ書2:12-14 「洗礼によって、キリストと共に葬られ、また、キリストを死者の中から復活させた神の力を信じて、キリストと共に復活させられたのです。肉に割礼を受けず、罪の中にいて死んでいたあなたがたを、神はキリストと共に生かしてくださいました。神は、わたしたちの一切の罪を赦し、規則によってわたしたちを訴えて不利に陥れていた証書を破棄し、これを十字架に釘付けにして取り除いてくださいました」。19 頁
- コロサイ書2:6-7 「あなたがたは、主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストに結ばれて歩みなさい。キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられたとおりの信仰をしっかりと守って、あふれるばかりに感謝しなさい」。15 & 16 頁
- コロサイ書2:9「キリストの内には、満ちあふれる神性が、余すところなく、見える形をとって宿っており」1 & 2 頁
- コロサイ書3:1-3「さて、あなたがたは、キリストと共に復活させられたのですから、上にあるものを求めなさい。そこでは、キリストが神の右の座に着いておられます。上にあるものに心を留め、地上のものに心を引かれぬようにしなさい。あなたがたは死んだのであって、あなたがたの命は、キリストと共に神の内に隠されているのです」。19 頁
- コロサイ書4:5-6 「時をよく使い、外部の人に対して賢くふるまいなさい。いつも、塩で味付けされた快い言葉で語りなさい。そうすれば、一人一人にどう答えるべきかが分かるでしょう」。36 頁
- フィリピ書2:5-8「互いにこのことを心がけなさい。それはキリスト・イエスにもみられるものです。キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえて自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になられました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした」。1 & 2 & 22 & 25 頁
フィリピ書3:20 「しかし、わたしたちの本国は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、わたしたちは待っています」。20 & 22 & 23 頁
- フィリピ書4:6-7 「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう」。26 頁
- ヘブライ書1:3「御子は、御子は、神の栄光の反映であり、神の本質の完全な現れであって、万物を御自分の力ある言葉によって支えておられますが、人々の罪を清められた後、天の高い所におられる大いなる方の右の座にお着きになりました」。1 & 2 & 5 頁
- ヘブライ書2:11-17「事実、人を聖なる者となさる方も、聖なる者とされる人たちも、すべて一つの源から出ているのです。それで、イエスは彼らを兄弟と呼ぶことを恥としないで、『わたしは、あなたの名をわたしの兄弟たちに知らせ、
ヘブライ書2:14-15「ところで、子らは血と肉を備えているので、イエスもまた同様に、これらのものを備えられました。それは、死をつかさどる者、つまり悪魔を御自分の死によって滅ぼし、死の恐怖のために一生涯、奴隷の状態にあった者たちを解放なさるためでした」。4 頁
ヘブライ書4:12 「というのは、神の言葉は生きており、力を発揮し、どんな両刃の剣よりも鋭く、精神と霊、関節と骨髄とを切り離すほどに刺し通して、心の思いや考えを見分けることができるからです」。24 & 26 頁
ヘブライ書4:3「信じたわたしたちは、この安息にあずかることができるのです。『わたしは怒って誓ったように、『彼らを決してわたしの安息にあずからせはしない』』と言われたとおりです。もっとも、神の業は天地創造の時以来、既に出来上がっていたのです」。13 頁
ヘブライ書4:7「再び、神はある日を『今日』と決めて、かなりの時がたった後、既に引用したとおり、『今日、あなたたちが神の声を聞けなら、心をかたくなにしてはならない』とダビデを通して語られたのです」。13 頁
ヘブライ書9:22「こうして、ほとんどすべてのものが、律法に従って血で清められており、血を流すことなしには罪の赦しはありえないのです」。4 頁

マタイ福音書1:20b-23『マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。』このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。『見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。』この名は、『神は我々と共におられる』という意味である」。1頁

マタイ福音書10:32「だから、だれでも人々の前で自分をわたしの仲間であると言い表す者は、わたしも天の父の前で、その人をわたしの仲間であると言い表す」。40頁

マタイ福音書26:28-29「これは、罪が赦されるように、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。言うておくが、わたしの父の国であなたがたと共に新たに飲むその日まで、今後ぶどうの実から作ったものを飲むことは決してあるまい。』」4頁

マタイ福音書27:57-61「夕方になると、アリマタヤ出身の金持ちでヨセフという人が来た。この人もイエスの弟子であった。この人がピラトのところに行って、イエスの遺体を渡してくれるようにと願い出た。そこでピラトは、渡すようにと命じた。ヨセフはイエスの遺体を受け取るようにと、きれいな亜麻布に包み、岩に掘った自分の新しい墓の中に納め、墓の入り口には大きな石を転がしておいて立ち去った。マグダラのマリアともう一人のマリアとはそこに残り、墓の方を向いて座っていた」。4頁

マタイ福音書3:13-17「そのとき、イエスが、ガリラヤからヨルダン川のヨハネのところへ来られた。彼から洗礼を受けるためである。ところが、ヨハネは、それを思いとどまらせようとして言った。『わたしこそ、あなたから洗礼を受けるべきなのに、あなたが、わたしのところへ来られたのですか。』しかし、イエスはお答えになった。『今は、止めないでほしい。正しいことをすべて行うのは、我々にふさわしいことです。』そこで、ヨハネはイエスの言われるとおりにした。イエスは洗礼を受けると、すぐ水の中から上がられた。そのとき、天がイエスに向かって開いた。イエスは、神の霊が鳩のように御自分の上に降って来るのを御覧になった。そのとき、『これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者』と言う声が、天から聞こえた」。3 & 26頁

マタイ福音書4:19-20「イエスは、『わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう』と言われた。二人はすぐに網を捨てて従った」。40頁

マタイ福音書7:13-14「『狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。しかし、命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。』」23頁

マタイ福音書7:28-29「イエスがこれらの言葉を語り終えられると、群衆はその教えに非常に驚いた。彼らの律法学者のようにではなく、権威ある者としてお教えになったからである。』」3頁

マタイ福音書7:7-8「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる」。26頁

マルコ福音書6:2-3「安息日になったので、イエスは会堂で教え始められた。多くの人々はそれを聞いて、驚いて言った。『この人は、このようなことをどこから得たのだろう。この人が授かった知恵と、その手で行われるこのような奇跡はいったい何か。この人は、大工ではないか。マリアの息子で、ヤコブ、ヨセ、ユダ、シモンの兄弟ではないか。姉妹たちは、ここで我々と一緒に住んでいるではないか。』このように、人々はイエスにつまずいた」。3頁

ヤコブ書5:16「だから、主にいやしていただくために、罪を告白し合い、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、大きな力があり、効果をもたらします」。26頁

ヨシュア記1:8「この律法の書をあなたの口から離すことなく、昼も夜も口ずさみ、そこに書かれていることをすべて忠実に守りなさい。そうすれば、あなたは、その行く先々で栄え、成功する」。26頁

ヨハネ福音書1:14「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた」。1 & 2頁

ヨハネ福音書10:10「盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである」。9頁

ヨハネ福音書10:30「わたしと父とは一つである。』」1 & 2頁

- ヨハネ福音書11:25-26「イエスは言われた。『わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。このことを信じるか。』」。15 & 16 & 19頁
- ヨハネ福音書12:17「イエスがラザロを墓から呼び出して、死者の中からよみがえらせたとき一緒にいた群衆は、その証しをしていた」。36頁
- ヨハネ福音書14:13-14「わたしの名によって願うことは、何でもかなえてあげよう。こうして、父は子によって栄光をお受けになる。わたしの名によってわたしに何かを願うならば、わたしがかなえてあげよう。』」。26頁
- ヨハネ福音書14:20「かの日には、わたしが父の内におり、あなたがたがわたしの内におり、わたしもあなたがたの内におることが、あなたがたに分かる」。18 & 19頁
- ヨハネ福音書14:6-7「イエスは言われた。『わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。7あなたがたがわたしを知っているなら、わたしの父をも知ることになる。今から、あなたがたは父を知る。いや、既に父を見ている。』」。13 & 15 & 16頁
- ヨハネ福音書15:16「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。あなたがたが出かけて行って実を結び、その実が残るようにと、また、わたしの名によって父に願うものは何でも与えられるようにと、わたしがあなたがたを任命したのである」。40頁
- ヨハネ福音書15:7「あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる」。26頁
- ヨハネ福音書16:28「わたしは父のもとから出て、世に来たが、今、世を去って、父のもとに行く。』」。5頁
- ヨハネ福音書16:33「これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。』」。10頁
- ヨハネ福音書3:16「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである」。12頁
- ヨハネ福音書3:6「肉から生まれたものは肉である。霊から生まれたものは霊である」。19 & 24頁
- ヨハネ福音書9:25「彼は答えた。『あの方が罪人かどうか、わたしには分かりません。ただ一つ知っているのは、目の見えなかったわたしが、今は見えるということです。』」。36頁
- ルカ福音書 2:41-47「さて、両親は過越祭には毎年エルサレムへ旅をした。イエスが十二歳になったときも、両親は祭りの慣習に従って都に上った。祭りの期間が終わって帰路について、少年イエスはエルサレムに残っておられたが、両親はそれに気づかなかった。イエスが道連れの中にいるものと思い、一日分の道を行ってしまい、それから、親類や知人の間を捜し回ったが、見つからなかった。捜しながらエルサレムに引き返した。三日の後、イエスが神殿の境内で学者たちの真ん中に座り、話を聞いたり質問したりしておられるのを見つけた。聞いている人は皆、イエスの賢い受け答えに驚いていた」。3頁
- ルカ福音書1:78-79「これは我らの神の憐れみの心による。この憐れみによって、高い所からあけぼのの光が我らを訪れ、暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、我らの歩みを平和の道に導く。』」。10頁
- ルカ福音書10:2「そして、彼らに言われた。『収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい。』」。40頁
- ルカ福音書19:10「人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである。』」。40頁
- ルカ福音書2:40「幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた」。3頁
- ルカ福音書2:52「イエスは知恵が増し、背丈も伸び、神と人にと愛された」。3頁
- ルカ福音書24:1-7「そして、週の初めの日の明け方早く、準備しておいた香料を持って墓に行った。見ると、石が墓のわきに転がしてあり、中に入っても、主イエスの遺体が見当たらなかった。そのため途方に暮れていると、輝く衣を着た二人の人がそばに現れた。婦人たちが恐れて地に顔を伏せると、二人は言った。『なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。まだガリラヤにおられたころ、お話しにな

- ったことを思い出しなさい。人の子は必ず、罪人の手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活することになっている、と言われたではないか。』5頁
- ルカ福音書24:50-51「イエスは、そこから彼らをベタニアの辺りまで連れて行き、手を上げて祝福された。そして、祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた」。5頁
- ルカ福音書9:60「イエスは言われた。『死んでいる者たちに、自分たちの死者を葬らせなさい。あなたは行って、神の国を言い広めなさい。』。40頁
- ローマ書10:13「『主の名を呼び求める者はだれでも救われる』のです」。15 & 16頁
- ローマ書10:9「口でイエスは主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです」。15 & 16頁
- ローマ書12:1「こういうわけで、兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です」。25頁
- ローマ書12:4-5「というのは、わたしたちの一つの体は多くの部分から成り立っていても、すべての部分と同じ働きをしていないように、わたしたちも数は多いが、キリストに結ばれて一つの体を形づくっており、各自は互いに部分なのです」。25頁
- ローマ書3:23「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが」。7 & 11頁
- ローマ書5:11「それだけでなく、わたしたちの主イエス・キリストによって、わたしたちは神を誇りとしています。今やこのキリストを通して和解させていただいたからです」。20頁
- ローマ書5:12「このようなわけで、一人の人によって罪が世に入り、罪によって死が入り込んだように、死はすべての人に及んだのです。すべての人が罪を犯したからです」。7頁
- ローマ書5:1-2「このように、わたしたちは信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得ており、このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています」。10 & 12頁
- ローマ書5:18-19「そこで、一人の罪によってすべての人に有罪の判決が下されたように、一人の正しい行為によって、すべての人が義とされて命を得ることになったのです。一人の人の不従順によって多くの人が罪人とされたように、一人の従順によって多くの人が正しい者とされるのです」。7 & 17頁
- ローマ書5:5「希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです」。19頁
- ローマ書5:6「実にキリストは、わたしたちがまだ弱かったころ、定められた時に、不信心な者のために死んでくださった」。4頁
- ローマ書5:9「それで今や、わたしたちはキリストの血によって義とされたのですから、キリストによって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです」。8頁
- ローマ書6:11-13「このように、あなたがたも自分は罪に対して死んでいるが、キリスト・イエスに結ばれて、神に対して生きているのだと考えなさい。従って、あなたがたの死ぬべき体を罪に支配させて、体の欲望に従うようなことがあってはなりません。また、あなたがたの五体を不義のための道具として罪に任せてはなりません。かえって、自分自身を死者の中から生き返った者として神に献げ、また、五体を義のための道具として神に献げなさい」。25頁
- ローマ書6:16「知らないのですか。あなたがたは、だれかに奴隷として従えば、その従っている人の奴隷となる。つまり、あなたがたは罪に仕える奴隷となって死に至るか、神に従順に仕える奴隷となって義に至るか、どちらかなのです」。9 & 23頁
- ローマ書6:21「では、そのころ、どんな実りがありましたか。あなたがたが今では恥ずかしいと思うものです。それらの行き着くところは、死にほかならない」。9頁
- ローマ書6:23「罪が支払う報酬は死です。しかし、神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスによる永遠の命なのです」。11頁
- ローマ書6:4-6「わたしたちは洗礼によってキリストと共に葬られ、その死にあずかるものとなりました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、わたしたちも新しい命に生きるためなのです。もし、わたしたちがキリストと一体になってその死の姿にあやかるならば、その復活の姿にもあやかれるでしょう。わたしたちの古い自分がキリストと共に十字架につけられたのは、罪に支配された体が滅ぼされ、もはや罪の奴隷にならないためであると知っています」。18 & 19頁

ローマ書7:14-25「わたしたちは、律法が靈的なものであると知っています。しかし、わたしは肉の人であり、罪に売り渡されています。わたしは、自分のしていることが分かりません。自分が望むことは実行せず、かえって憎んでいることをするからです。もし、望まないことを行っているとするれば、律法を善いものとして認めているわけになります。そして、そういうことを行っているのは、もはやわたしではなく、わたしの中に住んでいる罪なのです。わたしは、自分の内には、つまりわたしの肉には、善が住んでいないことを知っています。善をなそうという意志はありますが、それを実行できないからです。わたしは自分の望む善は行わず、望まない悪を行っている。もし、わたしが望まないことをしているとすれば、それをしているのは、もはやわたしではなく、わたしの中に住んでいる罪なのです。それで、善をなそうと思う自分には、いつも悪が付きまわっているという法則に気づきます。『内なる人』としては神の律法を喜んでいますが、わたしの五体にはもう一つの法則があつて心の法則と戦い、わたしを、五体の内にある罪の法則のとりこにしているのが分かります。わたしはなんと惨めな人間なのでしょう。死に定められたこの体から、だれがわたしを救ってくれるのでしょうか。わたしたちの主イエス・キリストを通して神に感謝いたします。このように、わたし自身は心では神の律法に仕えています、肉では罪の法則に仕えているのです」。23頁

ローマ書8:10「キリストがあなたがたの内におられるならば、体は罪によって死んでいても、“靈”は義によって命となっています」。19 & 24 & 25頁

ローマ書8:1-2 「従って、今や、キリスト・イエスに結ばれている者は、罪に定められることはありません。キリスト・イエスによって命をもたらす靈の法則が、罪と死との法則からあなたを解放したからです」。17 & 23頁

ローマ書8:15-17a「あなたがたは、人を奴隷として再び恐れに陥れる靈ではなく、神の子とする靈を受けたのです。この靈によってわたしたちは、『アッパ、父よ』と呼ぶのです。この靈こそは、わたしたちが神の子供であることを、わたしたちの靈と一緒に証ししてくださいます。もし子供であれば、相続人でもあります。神の相続人、しかもキリストと共同の相続人です」。20 & 21頁

ローマ書8:3「肉の弱さのために律法がなしえなかったことを、神はしてくださったのです。つまり、罪を取り除くために御子を罪深い肉と同じ姿でこの世に送り、その肉において罪を罪として処断されたのです」。

ローマ書8:37「しかし、これらすべてのことにおいて、わたしたちは、わたしたちを愛してくださる方によって輝かしい勝利を収めています」。9頁

ローマ書8:5-6「肉に従って歩む者は、肉に属することを考え、靈に従って歩む者は、靈に属することを考えます。肉の思いは死であり、靈の思いは命と平和であります」。10 & 22頁

使徒言行録1:8「あなたがたの上に聖靈が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」。40頁

使徒言行録4:12「ほかのだれによっても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです。」。8頁

使徒言行録9:28「それで、サウロはエルサレムで使徒たちと自由に行き来し、主の名によって恐れずに教えるようになった」。40頁

創世記2:16-17「主なる神は人に命じて言われた。『園のすべての木から取って食べなさい。ただし、善悪の知識の木からは、決して食べてはならない。食べると必ず死んでしまう。』」6頁

創世記2:7「主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった」。24頁

創世記2:8-9「主なる神は、東の方のエデンに園を設け、自ら形づくった人をそこに置かれた。主なる神は、見るからに好ましく、食べるに良いものをもたらすあらゆる木を地に生えいさせ、また園の中央には、命の木と善悪の知識の木を生えいさせられた」。6頁

創世記3:23「主なる神は、彼をエデンの園から追い出し、彼に、自分がそこから取られた土を耕させることにされた」。6頁

創世記3:2-6 「女は蛇に答えた。『わたしたちは園の木の果実を食べてもよいのです。でも、園の中央に生えている木の果実だけは、食べてはいけない、触れてはいけない、死んではいけないから、と神様はおっしゃいました。』蛇は女に言った。『決して死ぬことはない。それを食べると、目が開け、神のように善悪を知るものとなることを神はご存じなのだ。』女が見ると、その木はいかにもおいしそうで、目を引き付け、賢くなるように唆していた。女は実を取って食べ、一緒にいた男にも渡したので、彼も食べた。』6頁

- 第1コリント書15:22「つまり、アダムによってすべての人が死ぬことになったように、キリストによってすべての人が生かされることになるのです」。17 & 23頁
- 第1コリント書15:45-46『最初の人アダムは命のある生き物となった』と書いてありますが、最後のアダムは命を与える霊となったのです。最初に霊の体があったわけではありません。自然の命の体があり、次いで霊の体があるのです」。6頁
- 第1コリント書15:57 「わたしたちの主イエス・キリストによってわたしたちに勝利を賜る神に、感謝しよう」。8頁
- 第1コリント書2:16『だれが主の思いを知り、主を教えるというのか。』しかし、わたしたちはキリストの思いを抱いています」。22頁
- 第1コリント書3:16-18「あなたがたは、自分が神の神殿であり、神の霊が自分たちの内に住んでいることを知らないのですか。神の神殿を壊す者がいれば、神はその人を滅ぼされるでしょう。神の神殿は聖なるものだからです。あなたがたはその神殿なのです。だれも自分を欺いてはなりません。もし、あなたがたのだれかが、自分はこの世で知恵のある者だと考えているなら、本当に知恵のある者となるために愚かな者になりなさい」。24 & 25頁
- 第1コリント書6:17「しかし、主に結び付く者は主と一つの霊となるのです」。15 & 16 & 24頁
- 第1コリント書6:19-20「知らないのですか。あなたがたの体は、神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿であり、あなたがたはもはや自分自身のものではないのです。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい」。25頁
- 第1テサロニケ書1:6-8「そして、あなたがたはひどい苦しみの中で、聖霊による喜びをもって御言葉を受け入れ、わたしたちに倣う者、そして主に倣う者となり、マケドニア州とアカイア州にいるすべての信者の模範となるに至ったのです。主の言葉があなたがたのところから出て、マケドニア州やアカイア州に響き渡ったばかりでなく、神に対するあなたがたの信仰が至るところで伝えられているので、何も付け加えて言う必要はないほどです」。36頁
- 第1テサロニケ書5:23-24「どうか、平和の神御自身が、あなたがたを全く聖なる者としてくださいますように。また、あなたがたの霊も魂も体も何一つ欠けたところのないものとして守り、わたしたちの主イエス・キリストの来られるとき、非のうちどころのないものとしてくださいますように。あなたがたをお招きになった方は、真実で、必ずそのとおりにしてください」。24 & 25頁
- 第1テモテ書2:3-4「これは、わたしたちの救い主である神の御前に良いことであり、喜ばれることです。神は、すべての人々が救われて真理を知るようになることを望んでおられます」。40頁
- 第1テモテ書2:5-6「神は唯一であり、神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとりなのです。この方はすべての人の贖いとして御自身を献げられました。これは定められた時になされた証しです」。8 & 12頁
- 第1ペトロ書1:18-19「知ってのとおり、あなたがたが先祖伝来のむなしい生活から贖われたのは、金や銀のような朽ち果てるものにはならず、きずや汚れのない小羊のようなキリストの尊い血によるのです」。25頁
- 第1ペトロ書2:24「そして、十字架にかかって、自らその身にわたしたちの罪を担ってくださいました。わたしたちが、罪に対して死んで、義によって生きようになるためです。そのお受けになった傷によって、あなたがたはいやされました」。4頁
- 第1ペトロ書3:15「心の中でキリストを主とあがめなさい。あなたがたの抱いている希望について説明を要求する人には、いつでも弁明できるように備えていなさい」。36頁
- 第1ペトロ書3:18「キリストも、罪のためにただ一度苦しまれました。正しい方が、正しくない者たちのために苦しめられたのです。あなたがたを神のもとへ導くためです。キリストは、肉では死に渡されましたが、霊では生きる者とされたのです」。12頁
- 第1ヨハネ書1:7「しかし、神が光の中におられるように、わたしたちが光の中を歩むなら、互いに交わりを持ち、御子イエスの血によってあらゆる罪から清められます」。4頁
- 第1ヨハネ書1:9「自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださいます」。26頁
- 第1ヨハネ書3:1-3「御父がどれほどわたしたちを愛してくださるか、考えなさい。それは、わたしたちが神の子と呼ばれるほどで、事実また、そのとおりです。世がわたしたちを知らないのは、御父を知らなかったからです。愛する者たち、わたしたちは、今既に神の子ですが、自分がどのようになるかは、まだ示されていません。しかし、御子が現れるとき、御子に似た者となるということを知っています。なぜなら、その

とき御子をありのままに見るからです。御子にこの望みをかけている人は皆、御子が清いように、自分を清めます」。25頁

第1ヨハネ書3:9-10 「神から生まれた人は皆、罪を犯しません。神の種がこの人の内にいつもあるからです。この人は神から生まれたので、罪を犯すことができません。神の子たちと悪魔の子たちの区別は明らかです。正しい生活をしない者は皆、神に属していません。自分の兄弟を愛さない者も同様です」。25頁

第1ヨハネ書5:12-13「御子と結ばれている人にはこの命があり、神の子と結ばれていない人にはこの命がありません。神の子の名を信じているあなたがたに、これらのことを書き送るのは、永遠の命を得ていることを悟らせたいからです」。15 & 16頁

第1ヨハネ書5:18-19「わたしたちは知っています。すべて神から生まれた者は罪を犯しません。神からお生まれになった方が、その人を守ってください、悪い者は手を触れることができません。わたしたちは知っています。わたしたちは神に属する者ですが、この世全体が悪い者の支配下にあるのです」。17頁

第2コリント書5:16-21「それで、わたしたちは、今後だれをも肉に従って知ろうとはしません。肉に従ってキリストを知っていても、今はもうそう知ろうとはしません。だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。これらはすべて神から出ることであって、神は、キリストを通してわたしたちを御自分と和解させ、また、和解のために奉仕する任務をわたしたちにお授けになりました。つまり、神はキリストによって世を御自分と和解させ、人々の罪の責任を問うことなく、和解の言葉をわたしたちにゆだねられたのです。ですから、神がわたしたちを通して勤めておられるので、わたしたちはキリストの使者の務めを果たしています。キリストに代わってお願いします。神と和解させていただきなさい。罪と何のかかわりもない方を、神はわたしたちのために罪となさいました。わたしたちはその方によって神の義を得ることができたのです」。25頁

第2コリント書5:17「だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた」。20頁

第2コリント書5:18「これらはすべて神から出ることであって、神は、キリストを通してわたしたちを御自分と和解させ、また、和解のために奉仕する任務をわたしたちにお授けになりました」。8頁

第2テモテ書1:7「神は、おくびょうの霊ではなく、力と愛と思慮分別の霊をわたしたちにくださったのです」。21頁

箴言14:12「人間の前途がまっすぐなようでも果ては死への道となることがある」。11頁

詩編16:11「命の道を教えてください。わたしは御顔を仰いで満ち足り、喜び祝い右の御手から永遠の喜びをいただきます」。20頁

詩編40:3「わたしの口に新しい歌をわたしたちの神への賛美を授けてくださった。人はこぞって主を仰ぎ見、主を畏れ敬い、主に依り頼む」。36頁

ヘブライ書2:12-17 集会の中であなたを賛美します」と言い、また、『わたしは神に信頼します』と言い、更にまた、『ここに、わたしと、神がわたしに与えてくださった子らがあります』と言われます。ところで、子らは血と肉を備えているので、イエスもまた同様に、これらのものを備えられました。それは、死をつかさどる者、つまり悪魔を御自分の死によって滅ぼし、死の恐怖のために一生涯、奴隷の状態にあった者たちを解放なさるためでした。確かに、イエスは天使たちを助けず、アブラハムの子孫を助けられるのです。それで、イエスは、神の御前において憐れみ深い、忠実な大祭司となって、民の罪を償うために、すべての点で兄弟たちと同じようにならねばならなかったのです」。1 & 2 & 20頁

黙示録12:11「兄弟たちは、小羊の血と自分たちの証しの言葉とで、彼に打ち勝った」。36頁

黙示録19:10「わたしは天使を拝もうとしてその足もとにひれ伏した。すると、天使はわたしにこう言った。『やめよ。わたしは、あなたやイエスの証しを守っているあなたの兄弟たちと共に、仕える者である。神を礼拝せよ。イエスの証しは預言の霊なのだ。』」36頁

黙示録21:2「更にわたしは、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように用意を整えて、神のもとを離れ、天から下って来るのを見た」。20頁

黙示録3:20「見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう」。9頁

アマゾン又はキリスト教書店で購入できる書籍は以下の通りです。

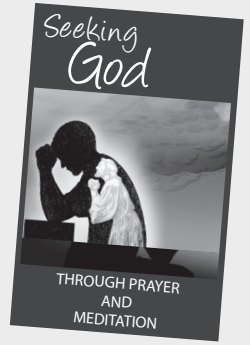
- 『福音の残り』、ダン・ストーンとデビッド・グレゴリー
- 『古典的キリスト教』、ボブ・ジョージ
- 『幸福への手引き』、チャールズ・ソロモン
- 『拒絶の裏と表』、チャールズ・ソロモン
- 『生涯の保証』、ビル・ギルハム
- 『キリスト者の標準』、ウオッチマン・ニー
- 『座り、歩き、立つ』、ウオッチマン・ニー
- 『霊の解放』、ウオッチマン・ニー
- 『相続権』、デビッド・ニーダム
- 『まことのぶどうの木』、アンドリュー・マーレー
- 『キリストにとどまれ』、アンドリュー・マーレー
- 『完全な明け渡し』、アンドリュー・マーレー
- 『キリストにある勝利』、チャールズ・トランブル
- 『勝利の人生へのカギ』、ジャック・タイラー
- 『キリストの救いの人生』、W.イアン・トーマス
- 『赦しの賜物』、チャールズ・スタンレー
- 『碎かれることの祝福』、チャールズ・スタンレー
- 『逆境』、チャールズ・スタンレー
- 『真実に向いて』、ジョン・リンチ
- 『高みへと最善を』(デボーション)、オズワルド・チェンバース
- 『永遠に赦されて』、ボブ・ジョージ
- 『呼び起される恵み』、チャールズ・スウィンドル
- 『キリストの十全』、ジョン・マッカーサー
- 『ハドソン・テラーの霊的秘密』、ドクター・アンド・ミセス・ハワード・テラー
- 「週ごとの恵みの覚書」、ジョン・ウッドワード 次のサイトで購入可：www.GraceNotebook.com
- 『私にとって、生きるのはキリスト、グループ・スタディ・コース』、チャールズ・ソロモン
- 『十字架、今日のあなたの勝利』
- チャールズ・スタンレー博士によるCDシリーズ(そしてスタンレー博士による多くの他の説教)
- 『恵みの足かせ』、リー・ルフェーブル
- 交換された人生の会議、リー・ルフェーブルによるCDシリーズ
- 『ついに自由に』、トニー・エバンス
- トニー・エバンス博士(ほとんど説教)
- グレゴリー・ディッコー(ほとんど説教)
- ローマ書:5-8章、聖書のどの版でも良い
- www.gracefellowshipintl.com
- www.thelifebookstore.com
- 『祈りと瞑想を通じて神を求める』、デビッド・ハウエル
- 『完全に生き、ついに自由に』、デビッド・ハウエル

Place Stamp Here

Prison Evangelism, Inc.
PO Box 571977 Houston,
Texas 77257



私はもう少し深く掘り下げたいと思います。『祈りと瞑想を通じて神を求める』を無料で一部送ってください。



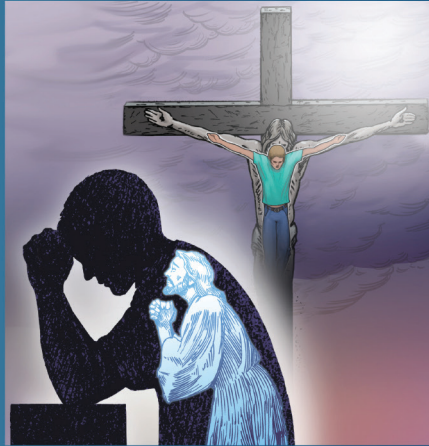
お名前 _____

ご住所 _____

郵便番号、都道府県名、市町村名 _____

「神の子どもになる方法」をどう思われたか、是非お聞かせください。 _____

神の子どもに なる方法



ここに示されたこれらの単純な真理を体験し、神への信頼と信仰がいかに、充実し、豊かで、勝利に満ちた人生に導いてくれるかを学びましょう。

この本の使い方

- 神との平和へ向かう道及びガイドとして
- 救いの体験を理解する手段として
- 個人・グループのバイブルスタディとして(223の聖句が含まれています)
- 30日間のデボーション・修養の手引きとして(イラストや聖句を用いて)

この本の作者デビッド・ハウエルは、神の子どもとして生まれ変わった者です。この本に含まれている情報には、長年の自己中心的な人生の後で、イエス・キリストから彼に与えられた体験と力と希望のすべてが反映されています。イラストや聖句、信仰書によってハウエルが示すのは、イエス・キリストと救いの体験を信頼し、理解することが、いかにこの地上において勝利ある豊かな人生と神との平和に繋がるかということです。

「生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです」。ガラテヤ書2:20

ISBN 978-0-578-14157-2

9 0000 >



9 780578 141572